



第30回日本脳神経外科コンgres総会 ランチョンセミナー1-5

5 | 7  12:15-13:15
2010

会場

パシフィコ横浜
第5会場 [会議センター 4階 418]
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1

SPECT

— 脳核医学による治療への新たな貢献 —

座長

中川原 讓二先生

医療法人医仁会 中村記念病院 脳神経外科 診療本部長

講演 **1**

イオマゼニルSPECTの有用性と応用

畑澤 順先生

大阪大学大学院医学系研究科 核医学講座 教授

講演 **2**

QSPECTによる脳血流測定

松田 博史先生

埼玉医科大学国際医療センター 核医学科 教授

共催

第30回日本脳神経外科コンgres総会
日本脳神経核医学研究会
日本メジフィジックス株式会社



SPECT

— 脳核医学による治療への新たな貢献 —

イオマゼニルSPECTの有用性と応用

中枢性ベンゾジアゼピン受容体に結合するSPECT用トレーサーであるイオマゼニルは、てんかん焦点においてその集積が低下する事が知られており、近年外科的治療の対象となる難治性てんかん患者に対する焦点検索の目的で臨床に多く用いられるようになってきている。しかし、大脳灰白質の萎縮、生理的な灰白質密度の左右差等の形態的な変化の影響を強く受け、焦点検索能力が低下する。本セミナーでは、イオマゼニルSPECT画像を大脳灰白質分布に基づく部分容積効果補正によって、難治性てんかん症例における発作焦点の検索能力が改善する事が呈示され、本法の焦点切除術への貢献について紹介していただく。

QSPECTによる脳血流測定

Japanese EC-IC bypass trial (JET-Study)にて、血行力学的脳虚血例 (Stage2) においては、外科的治療により再発が抑制されると報告された。また近年頸動脈狭窄症に対してCEAやCASが行われるようになり、術後の過灌流を予測するために術前の脳血管反応性の評価が重要であると指摘されている。いずれの場合もDiamox負荷脳血流定量検査の役割は大きい。飯田先生らによって開発されたQSPECTは定量性に優れ、DTARG法によって脳血流量と血管反応性が同日のうちに評価できる。本セミナーではQSPECT&DTARG法の基礎的検討や臨床的有用性について紹介していただく。

医療法人医仁会 中村記念病院 脳神経外科 診療本部長

中川原 譲二

About JCNN

日本脳神経核医学研究会について

日本脳神経核医学研究会は、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的としています。

脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科などで実際の診療に携わる臨床医、装置や医薬品の開発を行う物理工学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、脳核医学に関する多くの課題について議論する場を設定して、検査法の確立、臨床使用のためのガイドラインの作成、国際的な枠組みの中で情報交換などを行っていきます。

研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていききたいと考えています。この趣旨にご賛同いただき、脳核医学の発展のために、是非本研究会にご参加下さい。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

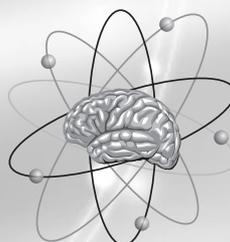
日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F

日本コンベンションサービス株式会社内

E-mail: infojcnn@convention.co.jp

Tel: 03-3508-1214 Fax: 03-3508-1302



JCNN